

<保健体育科 第3学年 保健分野の評価規準について>

【単元名】保健⑤ 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み（配当 8 時間）

【学習指導要領との関連】保健分野(1)ア(オ)(カ)、イ

【教科書のページ】 p.132～153

1 単元の目標

- (1) 感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、理解することができるようにする。
- (2) 感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択することができるようにする。
- (3) 感染症の予防、健康を守る社会の取り組みに関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・感染症は、病原体が原因となって起こる病気であること、また、病原体は様々な経路で広がっていき、病原体の種類によって感染経路は異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・私たちの体には、病原体の侵入を防いだり、排除したりする抵抗力が備わっていること、体の抵抗力は生活習慣や予防接種によって高めることができることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・感染症を予防するには、発生源をなくす、感染経路を遮断する、体の抵抗力を高めるといった3つの対策が有効であること、感染症にかかった場合は、周囲に感染を広げないためにも早期に適切な治療を受けることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・性感染症の青少年の感染が社会問題となっており、その疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する予防方法について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・エイズは、HIV という病原体によって起こり、免疫の働きを弱めてしまう感染症であること、その主な感染経路は性的接触であるため、性感染症の予防方法が有効であることについて、理</p>	<p>・感染症の予防、健康を守る社会の取り組みにおける事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。</p> <p>・感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康の保持増進をする方法を選択すること。</p> <p>・感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p> <p>※全8時間の中で、該当時間のねらい等に対応させ、適切な時間に評価機会を設定する。</p>	<p>・感染症の予防、健康を守る社会の取り組みに関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>※全8時間の中で、該当時間のねらい等に対応させ、適切な時間に評価機会を設定する。</p>

<p>解したことを言ったり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康は、個人の努力だけでなく、社会の取り組みによって支えられていること、また、保健機関の役割を知り、有効に利用することが大切であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心身の不調を感じたら早期に医療機関を受診する必要があること、医療機関にはそれぞれ役割があり、適切に利用することが求められることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・医薬品には、主作用と副作用があること及び、使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 	<p>定する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・学習記録カードの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・学習記録カードの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・学習記録カードの記述

【単元名】保健⑥ 環境の健康への影響（配当 8 時間）

【学習指導要領との関連】保健分野(4)ア、イ

【教科書のページ】 p.154～175

1 単元の目標

- (1) 健康と環境について、理解することができるようにする。
- (2) 健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- (3) 健康と環境に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・体には環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があること、適応能力の限界を超えると健康に重大な影響があるため、環境の変化に対処することが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・気象情報は、人々の迅速な防災行動を促したり、気象の変化によっておこる健康被害を未然に防いだりすることに役立つこと、特に熱中症 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。 ・身体的环境に対する適応能力・至適範囲について、習得した知識を自他の生活に適 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と環境に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。 <p>※全 8 時間の中で、該当時間のねらい等に対応させ、適切な時間に評価機会を設定する。</p>

<p>を防ぐには気象情報の適切な利用が有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温・湿度・気流には、学習やスポーツなどそれぞれの活動がしやすい至適範囲があり、至適範囲から外れると活動の能率の低下がみられること、また、明るさにも至適範囲があり、活動の内容や場所によって異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・二酸化炭素の増加や一酸化炭素の発生によって室内の空気が汚染されると健康に害を及ぼすこと、また、衛生的な室内環境を保つためには換気が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・水は、人間の生命維持や健康な生活と密接なかわりがあり重要な役割を果たしていること、また、飲料水には水質基準が設けられており、水道施設を設けて衛生的な水を確保していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・し尿やごみなどの廃棄物を放置すると、自然環境が汚染され、健康にも悪影響を及ぼすこと、そのため廃棄物の種類に応じて衛生的に処理する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・地震や台風、局地的豪雨などの災害によって環境が悪化すると、様々な健康被害が発生すること、また、災害時には公共機関の情報を活用したり、即時性や局地性に優れた SNS などの情報源の正確性を判断したうえで活用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康に影響を及ぼす環境汚染は変化してきていること、環境問題は生活と密接につながっており、循環型社会の実現には私たち一人ひとりの行動が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 	<p>用したり、課題解決に役立てたりして、熱中症などになるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を見いだしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲料水や空気の衛生的管理や廃棄物の衛生的管理について、習得した知識と自他を取り巻く環境とを関連付けたり、整理したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。 ・健康と環境について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。 <p>※全8時間の中で、該当時間のねらい等に対応させ、適切な時間に評価機会を設定する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・学習記録カードの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・学習記録カードの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・学習記録カードの記述